

授業と評価の年間計画

教科	国語	科目	古典 B		
使用教科書(発行所)	改訂版 古典 B (第一学習社)				
履修条件 対象生徒	必修 普通科(文型) 2年				
学習目標	古典作品を読む能力を養うとともに、ものの見方、感じ方、考え方を広くし、古典に親しむことによって人生を豊かにする態度を身に付ける。				
学習方法	<p>【授業】 家庭での予習を前提に授業が進む。まず、音読を通して正確な読みを身に付ける。語句・文法・修辞法などの基礎的な事項を理解して口語訳を行った上で、作中人物のものの見方、感じ方、考え方を読み取ろうとする姿勢を持つ。時代背景やその当時を生きた人々の生活習慣などを理解し、現代を生きる自分と比較することによって深い読解につなげる。</p> <p>【家庭】 こまめに辞書を引き、文法事項を確認しながら早め早めに予習をし、分からない箇所をきちんと把握して授業に臨む。古文単語の学習は、計画的に進めておく。</p>				
学習計画 と ねらい	1 1学期 (1) 中間検査まで 説話『古今著聞集』 故事成語 呉越同舟 知音	<ul style="list-style-type: none"> ・説話を読み、展開や内容のおもしろさを味わう。 ・日本語の表現を豊かにしてきた故事成語を理解し、古典と現代生活のつながりを実感する。 ・和歌に着目しながら、登場人物の行動や心情を捉える。 ・作品の内容・文章表現を理解し、自己の思考と表現力を高める。 			
	2 2学期 (1) 中間検査まで 物語『源氏物語』 儒家の思想『論語』	<ul style="list-style-type: none"> ・登場人物相互の関係を理解し、心の動きを捉える。 ・儒家の思想系統について概要を理解し、それぞれの要旨をつかむ。 ・長い文章を、話の筋を追いながら読解する力を養う。 ・人間の真実を追求しようとした、司馬遷の意図を考える。 			
	3 3学期 (1) 学年末検査まで 物語『大鏡』 道家の思想『老子』	<ul style="list-style-type: none"> ・登場人物の生き方を通して、人間のあり方について関心を深める。 ・紀伝体歴史叙述の構成原理を理解する。 ・道家・法家の思想の系統について、概要を理解し、要旨をつかむ。 ・比喩の巧みさ・説得の巧みさを味わい、主張や論理を的確に捉える。 			
評価規準	関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	知識・理解
	教材に興味をもって学習に取り組んでいる。作品の内容や特色について関心をもち、理解を深めようとしている。	/	/	本文の構成を把握し、話の展開を理解している。語句や文法に注意して現代語訳している。文体に注意して繰り返し音読している。	古典文法、敬語の意味と用法、漢文の句形、語句について理解を深めている。作品の内容や文芸史的な意義・位置づけについての理解を深めている。
評価方法	①定期検査 ②授業態度 ③課題・提出物を総合的に判断して評価する。				
その他					